

新中間処理施設整備基本構想の策定

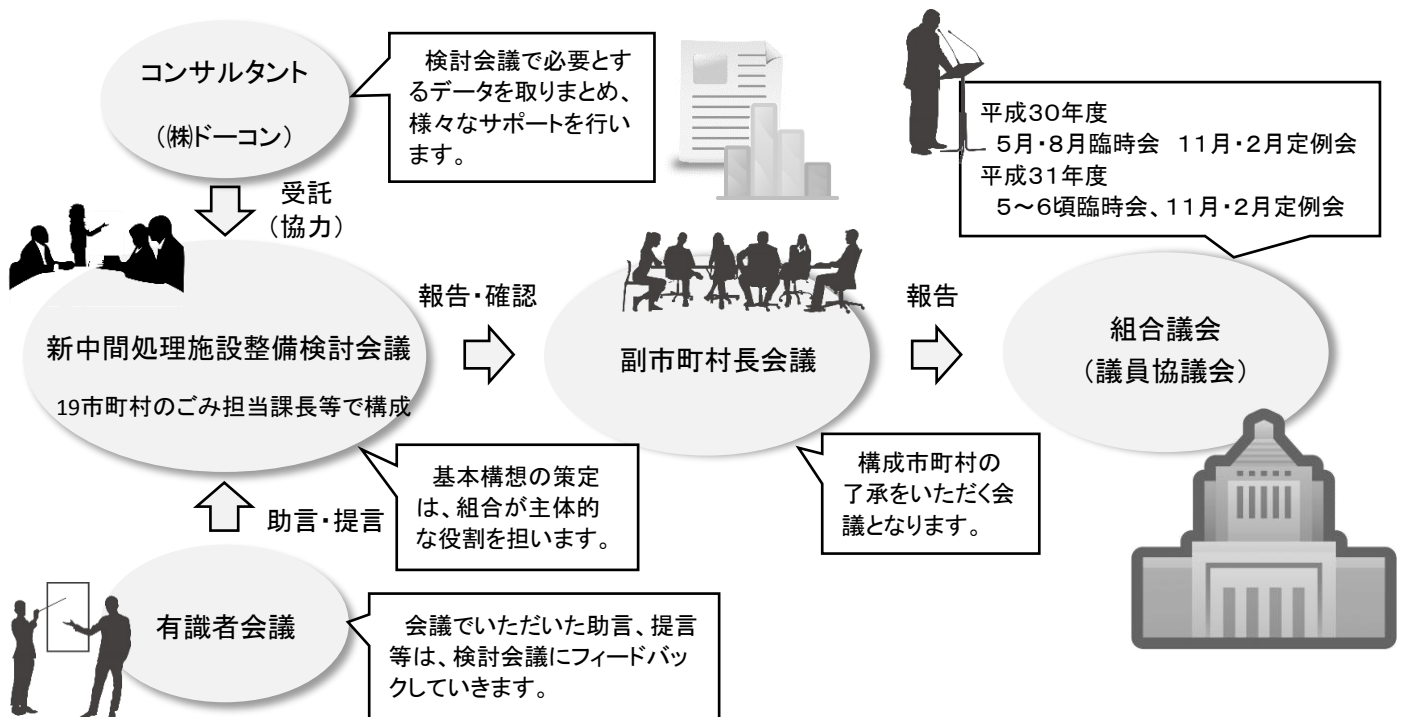
新中間処理施設の整備に向けて、安全で安定したごみ処理やごみ処理システムの効率性、経済性などを総合的に検討し、基本的な方向性を定めることが目的です。また、検討の際には、長期的な展望に立ち、十勝の地域的な要素にも配慮します。

この基本構想に基づいて、循環型社会形成推進地域計画をつくり、その後、国との協議を進めます。

◆基本構想策定の流れ

新中間処理施設基本構想の策定に向けて、十勝管内19市町村による検討会議においてコンサルタントや有識者の協力をいただきながら議論を進めます。

検討委員会での結果は、副市町村長会議において承認をいただき、その後、議員協議会に報告することになります。(必要に応じて議会において理事者報告も行います。)



◆基本構想の主な内容

策定の目的	施設の現状や建て替えの必要性などを記載します。
基本理念・方針	循環型社会の形成など施設が目指すべき姿について記載します。
建設候補地	立地条件等を定め候補地を選定します。
施設の規模	ごみ処理量を推計し、焼却施設や不燃・粗大ごみの処理施設の規模について決定します。
環境規制	周辺環境の保全に配慮し、環境負荷の低減を図る管理基準について記載します。
処理方式	ごみ処理の安定性等の観点から処理方式を選定します。
施設整備	施設全体を効率良く運用するための配置計画を記載します。
事業方式	市町村の負担を考えた、効率的で安定した事業方式を選定します。
今後のスケジュール	新施設稼動までの詳細なスケジュールを記載します。